

事務事業評価事業一覧表(令和4年度決算)

企業会計
市立病院事業会計

事務事業番号	款	項	目	担当部署	事業の評価	ページ
	事業名					
	資本的支出	建設改良費	固定資産取得費			
01010109	医療機械器具整備事業			市立病院事務部経営管理課	A	462
	資本的支出	長期貸付金	学資金貸付金			
01030110	学資金貸与事業			市立病院事務部経営管理課	A	463

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01固定資産取得費

事務事業番号 01010109

事業名		医療機械器具整備事業		担当部署	市立病院事務部 経営管理課						
根拠法令											
令和4年度決算額		313,546	千円	項目評価				総合評価 A			
財源内訳	国道支出金	16,939	千円								
	地方債	281,900	千円								
	その他	2,500	千円								
	一般財源	12,207	千円								
事業費（総計）		315,695	千円								
決算額		313,546	千円								
人件費		2,149	千円								
事業の目的		東胆振・日高の医療圏域を対象としており、高度な医療需要に対応した医療機器の導入や更新等の整備を進めます。									
事業の内容 SDGs17の目標		主な機器の整備内容 4K腹腔鏡カメラシステム 【機器の説明】 微細な血管や幕・神経の同定に結び付く情報を得ることができる4KフルカラーIOG蛍光観察機能付きカメラシステム 【整備の理由】 4Kフルカラー画像により、術中の消化管血流評価を行うほか、より確実かつ安全な手術を行うことが可能となる。									
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度				
		医師数		人	79	75	76				
		紹介患者数		人	7,548	7,168	7,412				
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							医療機器の更新等は、医師の確保や質の高い医療の提供に大きく寄与するものであるため、「4」としました。		
効率性			●						整備したすべての機器を費用対効果の点から判断することは難しいものの、医療現場の声をもとに、より効果的な機器を選定していることから、「3」としました。		
公平性		●							機器の更新や整備は、東胆振及び日高圏域の中核病院として高度な医療を提供するために必要不可欠なものであることから、「4」としました。		
将来性		●				本事業は、機器の購入による医療水準の向上に寄与するとともに、医師の確保などを通じた将来的な診療体制の構築に資するものであるため、「4」としました。					
総合評価		A				項目評価のとおりおおむね目的に適った事業を行うことができていますが、今後も安定した医療体制を実現するため、医療スタッフの確保に向けた魅力ある病院づくりを進めていきます。また、圏域内の高度急性期及び急性期医療の提供を維持するとともに、地域包括ケア病棟などを活用した「切れ目のない医療」の提供を目指し、医療技術の進歩に合わせた高度医療機器の計画的な整備を行ってまいります。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 03長期貸付金

目 01学資金貸付金

事務事業番号 01030110

事業名		学資金貸与事業		担当部署	市立病院事務部 経営管理課																																		
根拠法令		苫小牧市立病院学資金の貸付けに関する条例																																					
令和4年度決算額		33,600	千円	項目評価																																			
財源内訳	国道支出金		千円																																				
	地方債		千円																																				
	その他	9,000	千円																																				
	一般財源	24,600	千円																																				
事業費（総計）		35,032	千円																																				
決算額		33,600	千円																																				
人件費		1,432	千円																																				
事業の目的		将来、当院で看護師等の業務に従事しようとする優秀な人材の育成及び確保を目的として、看護師等養成機関の就学者に対して学資金を貸与するものです。																																					
事業の内容 SDGs17の目標		<p>将来の必要人員確保を踏まえ例年9月・3月頃に募集し、予算の範囲内で最大限制度の活用を図っています。具体的には、看護師・助産師免許取得可能な道内外の高校・大学・看護学校に対して資料を送付して利用を呼び掛けています。</p> <p>【令和4年度 決算額】</p> <table border="0"> <tr> <td>看護師</td> <td>52人</td> <td>×</td> <td>50千円/人</td> <td>×</td> <td>12か月</td> <td>=</td> <td>31,200千円</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1人</td> <td>×</td> <td>50千円/人</td> <td>×</td> <td>11か月</td> <td>=</td> <td>550千円</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1人</td> <td>×</td> <td>50千円/人</td> <td>×</td> <td>1か月</td> <td>=</td> <td>50千円</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>1人</td> <td>×</td> <td>150千円/人</td> <td>×</td> <td>12か月</td> <td>=</td> <td>1,800千円</td> </tr> </table>						看護師	52人	×	50千円/人	×	12か月	=	31,200千円	看護師	1人	×	50千円/人	×	11か月	=	550千円	看護師	1人	×	50千円/人	×	1か月	=	50千円	助産師	1人	×	150千円/人	×	12か月	=	1,800千円
看護師	52人	×	50千円/人	×	12か月	=	31,200千円																																
看護師	1人	×	50千円/人	×	11か月	=	550千円																																
看護師	1人	×	50千円/人	×	1か月	=	50千円																																
助産師	1人	×	150千円/人	×	12か月	=	1,800千円																																
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度																																
		学資金貸与者数		人	55	54	57																																
項目評価		高 → 低		評価の理由																																			
		4	3	2	1																																		
有効性		●				安定した医療提供体制の実現には医療スタッフの安定確保は不可欠であり、当該事業の果たす役割は大きいことから「4」としました。																																	
効率性			●			当該事業による入職者の定着率が高いことから「3」としました																																	
公平性		●				市内外の高等学校や当院ホームページでの周知により、広く公募していることから「4」としました。																																	
将来性		●				当院は地域医療を守るとともに、良質な医療を提供していくことが求められ、当該事業の果たす役割は大きいことから「4」としました。																																	
総合評価		A		評価項目のとおり目的に適った事業を展開できています。次年度も当該事業の活用によって優秀な人材を確保し、地域医療に貢献していく考えです。																																			
特記事項																																							